

# 3-3 災害の注意報や警報、避難情報などの意味を知る





大雨注意報と大雨警報は、何がどう違うのだろう。いろいろな防災情報のことには、どういう意味があるのだろう。

## ■注意報・警報・特別警報は危険の程度に応じて発表

気象庁は、大雨や強風、大雪など自然現象で災害が起きるおそれがあるときには「注意報」を、重大な災害が起きるおそれがあるときには「警報」を発表します。またこれまでに経験したことがないような重大な災害の危険が極めて高いときに「特別警報」を発表します。注意報や警報、特別警報は、市町村やテレビなどの報道機関、通信会社などを通じてわたしたちに伝えられます。

そのほかに「記録的短時間大雨情報」、「土砂災害警戒情報」も発表されます。それぞれどんなときに発表され、どういう意味があるのか、知っておくことが大切です。

## ●防災気象情報 ～ 注意報→警報→特別警報の順で、危険度が高くなる ～

危険度	雨	種類	どんなときに発表されるか	注意
<div style="text-align: center;"> <span style="font-size: 2em;">小</span>  <span style="font-size: 2em;">大</span> </div>	 強い雨が降り始める	<b>大雨注意報</b>	大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したとき。	<p><b>【土砂災害警戒情報とは】</b></p> <p>土砂災害の危険性がさらに高まったと予想されたとき。                      大雨警報（土砂災害）の発表中に、土砂災害の危険度がさらに高まったときは、気象台と都道府県が共同で、市町村を特定して土砂災害警戒情報を発表します。                      市町村の土砂災害発生の危険度が高まっているくわしい場所は、インターネットの「山形県土砂災害警戒システム」で確認できます。</p>
	 大雨が激しさを増す	<b>大雨警報</b>	大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したとき。	
	 記録的な大雨	<b>記録的短時間大雨情報</b>	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨（特に激しい短時間の大雨が観測されたとき）	
	 経験のない大雨	<b>大雨特別警報</b>	警報の発表基準をはるかに超える大雨が広い範囲で予想され、これまでに経験したことのないような重大な土砂災害や浸水害の起こるおそれが著しく高まっているとき。 （台風や集中豪雨により、数十年に一度という激しい雨が予想されるときや、数十年に一度という強い台風や温帯低気圧によって大雨が予想されるとき。）	

## ★気象庁が注意報・警報・特別警報を発表する自然現象

注意報や警報が発表されるのは大雨のときだけではありません。

注意報が発表されるのは	大雨・洪水・強風・風雪・大雪・波浪・高潮・雷・融雪・濃霧・乾燥・なだれ・低温・霜・着氷・着雪
警報が発表されるのは	大雨（土砂災害、浸水害）・洪水・暴風・暴風雪・大雪・波浪・高潮
特別警報が発表されるのは	大雨（土砂災害、浸水害）・暴風・暴風雪・大雪・波浪・高潮

このほかにも、次のような災害に対する速報や注意報・警報があります。

- ★**地震**に対して：地震が起きた場所（震源）に近い地震計がとらえたゆれ始めのデータをもとに、予想される最大震度が5弱以上になるとときに緊急地震速報を発表します。発表の対象は、震度が4以上になると予想される地域です。
- ★**火山噴火**に対して：活火山が静かなときは噴火予報、活動が激しくなり災害が予想されるときは、程度に応じて「噴火警報」、「噴火特別警報」が発表されます。
- ★**津波**に対して：地震により津波発生のおそれがあるときは、予想される津波の高さに応じて津波注意報（20cm以上1m以下）、津波警報（1m超3m以下）、大津波警報（3m超）が発表されます。

## ■避難情報は5段階

災害が発生する危険性が高まったときは、想定される災害の種類別に、あてはまる区域を示して、注意報や警報が気象庁から、避難勧告や避難指示などの避難情報が市町村から発令されます。これらの情報は、危険の程度に応じて5段階の「警戒レベル」に分かれています。

●警戒レベル ～ レベル3で高齢者らは避難開始、レベル4で対象地域は速やかに全員避難 ～

警戒レベル	とるべき行動	市町村から発令される避難情報 (発令がとられる場合もある)	気象庁などから発表される防災気象情報 (避難行動の参考となる情報)
1 (気象庁発表)	最新情報に注意		早期注意情報(警報級の可能性:高・中) (気象庁が発表)
2 (気象庁発表)	避難方法を確認		大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報 等 (気象庁が発表)
3 (市町村発令)	高齢者らは避難、 他は準備し自主避難	避難準備・ 高齢者等避難開始 (市町村が発令)	警戒レベル3相当 大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報 等
4 (市町村発令)	速やかに 全員避難	避難勧告 避難指示(緊急) (市町村が発令)	警戒レベル4相当 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 等
5 (市町村発令)	命を守る行動	災害発生情報 (市町村が発令)	警戒レベル5相当 大雨特別警報 氾濫発生情報 等

### ★緊急速報メール

気象に関する特別警報(大雨・暴風・暴風雪・大雪・波浪・高波)が発表されたとき、噴火警報が発表されたとき、緊急地震速報や津波警報・大津波警報が発表されたときは、関係する地域にいる人びとの携帯電話やスマートフォンに、いっせいに緊急速報メールが送られます。

また、避難情報も、市町村の緊急速報メールなどで知らせてきます。



### 特別警報が発表される現象

**大雨** 大雨、長雨の影響による土砂災害や浸水害など。



**暴風** 台風や温帯低気圧によるひじょうに強い風。



**暴風雪** 雪をともなう暴風。



**大雪** 数日以上にわたる降雪により、社会的に大きな影響をもたらすおそれのある雪。



**波浪** 台風や温帯低気圧による高波。地震による津波とはまったく別のもの。



**高潮** 台風や温帯低気圧により、海面が高くなる現象。

